

令和元年度高松市伝統的ものづくり振興事業実績・決算
【決算額 5,631,120 円】

1 伝統的ものづくり振興審議会開催経費 【事業費 78,000 円】

令和元年度 開催実績 3 回 (6/7、8/2、2/19)

2 伝統的ものづくり夏休み親子体験教室 【事業費 84,000 円】

<普及啓発>

市の実施する夏休み親子体験講座を取りまとめたリーフレットを作成し、市内の全小学生へ配布し、募集を行った。応募者総数 199 組より抽選を行い、①②⑤⑥はこども未来館、③④は四番丁スクエアにて下記 6 コースを実施した。

	内容	実施日	場所	参加者
①	讃岐かがり手まり「まきまき」体験	8月5日(月)	こども未来館	23組
②	保多織でオリジナルランチョンマットを作ろう体験			28組
③	菓子木型で和三盆&練りきりを作ろう体験	8月7日(水)	四番丁スクエア	47組
④	讃岐のり染め 藍染めハンカチづくり体験			22組
⑤	松を知ろう!黒松の苔玉づくり体験	8月8日(木)	こども未来館	20組
⑥	組子入り写真たてづくり体験			25組
合計				165組



3 夏休み親子探検隊リーフレット作成事業 【事業費 207,792 円】

＜普及啓発＞

市内小学校の全児童とその保護者を対象に夏休み期間中に実施する全庁的なイベントを掲載したリーフレットを作成し、市内の全小学生へ学校を通じて配布した。



4 伝統的ものづくり学校巡回教室 【事業費 651,600 円】

＜普及啓発＞

次代を担う子どもたちが伝統的ものづくりについて理解と関心を深めるとともに、高松の歴史を伴う伝統的ものづくりに関する教育の推進、自分の住んでいる都市に対して「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することを目的に実施した。

高松市内の小中学校に希望調査をとり、希望のあった学校に、香川漆器・庵治石・盆栽の3つの分野の職人の方のお話を聞いたり、作業の様子や作品を実際に見てもらったり、簡単な体験をってもらう内容で実施した。

	小中学校・学年等	小中学生参加人数
①	屋島東小学校・6年生	21名
②	新番丁小学校・6年生	136名
③	木太南小学校・6年生	111名
	3校	268名



5 伝統的ものづくり事業者対象セミナー 【事業費 120,952 円】

<販路開拓/事業者等に対する支援>

伝統的ものづくりに携わる方の学びの場をつくること、異業種間のつながりをつくること、市民が地域の資源である伝統的なものづくりを知る場をつくることを目的として、ものづくりに携わっている方や関心のある方を対象としたセミナー&ディスカッションを開催した。

① セミナー&ディスカッション

日時	令和元年10月18日(金) 18時30分~20時30分
場所	市民交流プラザ IKODE瓦町 多目的スタジオ (高松市常磐町1丁目3番地1 瓦町FLAG8階)
講師	秋元 雄史 氏: 東京藝術大学大学美術館館長・教授、練馬区立美術館館長、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育委員会委員
対象	伝統的ものづくりに携わっている方、関心のある方
参加者	一般47名、行政関係者8名、合計55名

高松市 高松

セミナー&ディスカッション

「工芸の現代化」を進める 金沢の工芸振興について

東京藝術大学大学美術館長として活躍されている秋元雄史氏に、金沢21世紀美術館館長の時代から関わっている様々な工芸振興策をご紹介いただき、工芸の未来像を考えたいと思います。

10月18日(金) 18:30-20:30 (受付18:00~)

講師: 秋元 雄史 (Akimoto Yuji)
東京藝術大学大学美術館館長・教授、練馬区立美術館館長、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育委員会委員

美術評論家。1955年東京都生まれ。東京芸術大学美術学部彫刻科卒業。1981年よりパブリック・アート・プロジェクトの企画・プロジェクトに関わる。2004年より東京美術館館長、2007年より東京オリンピック・パラリンピック・デジタル・テクノロジーを推進。2007年~2017年3月まで金沢21世紀美術館館長。「金沢アートプラットフォーム2008」、「金沢・空想工芸トリエンナーレ」(工芸未来展)、「月と一輪」等を執筆。2013年4月~2017年3月まで秋田公立美術大学美術館館長。2013年4月~2015年3月まで富山県立大学美術館館長。2015年より東京藝術大学大学美術館館長・教授。主な著作に「清島風生」「武野にみる和の美意識 西洋美術観」「日本列島「現代アート」を導く」「一日遊かるたの物語 日本美術鑑賞」

対 象: 伝統的ものづくりに携わっている方、関心のある方
場 所: 瓦町FLAG8階 IKODE瓦町 多目的スタジオ
〒760-0054 香川県高松市常磐町1丁目3-1
定 員: 100名
参加費: 無料

※参加ご希望の方は下記までお電話、FAX、メールにてお申し込みください。
申込・問い合わせ先: 高松市都市推進課産業振興課 (高松市常磐町1丁目8番15号)
TEL: 087-839-2411 / FAX: 087-839-2440 E-mail: shoukou@city.takamatsu.lg.jp

クエー
イ
ー
ク

た
か
ま
つ
し
て
い
ま
す

住所	〒	〒	〒
連絡先・会社名	TEL	-	-
参加者	役職	氏名	E-mail

6 香川漆芸魅力発信事業 【事業費 1,363,000 円】

<人づくりの推進/事業環境の整備/普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援>

優れた技法が伝わる「香川漆芸」について、ブランド化の核となるブランドイメージの形成を図るとともに、認知度向上と若手漆芸作家の活動支援のための取り組みを香川県と共に実施した。

デンマークの陶磁器ブランドと香川漆器のコラボレーションを行い、その作品を家庭画報に掲載した。その他、ファーストパトロンシッププログラムへの出展や、台湾との漆芸交流事業、漆芸研究所の修了作品を東京や県内の事業者のオフィス等へ無償で貸出を行う事業を実施した。

また、「アートフェア東京2019」に、香川県漆芸研究所として昨年に引き続き出展予定であったが、新型コロナウイルスの関係で中止となった。

① 情報発信事業

ロイヤルコペンハーゲンとコラボした茶箱について

富裕層の購読者が多い女性誌「家庭画報」（世界文化社）において、デンマークの陶磁器ブランド「ロイヤルコペンハーゲン」とのコラボレーション企画を実施した。230周年となる最高峰シリーズの「フローラ ダニカ」のテーブルウェアを収納する茶箱2種類（「野点茶櫃」「野点小筆筒」）を、人間国宝の山下義人氏が監修し、香川漆芸作家3名とともに制作した。これらを家庭画報5月号（4月1日発売）に掲載し、情報発信を行った。

今後は、ロイヤルコペンハーゲン東京本店において展示されるとともに、受注制作をする予定である。

② 新商品販売支援事業

【アートフェア東京 2020 への出展（新型コロナウイルスの関係で中止）】

毎年春に東京で開催されている国内最大級の国際的なアートの見本市「アートフェア東京 2020」に、香川県漆芸研究所として出展するため準備を進めていた。新型コロナウイルスの関係で主催者の一般社団法人アート東京が開催直前に中止を決定したことから、出展ができなかった。

会 期：令和2年3月19日（木）～22日（日） 4日間

会 場：東京国際フォーラム 地下1階 ロビーギャラリー

（東京都千代田区丸の内三丁目5番1号）

出展作家：加藤 有理（平成19年研究生修了）、坂本 征志（平成19年研究生修了）

③ ファーストパトロネージュプログラムへの出展

若手の作家や職人が、初めて出店する展覧会「ファーストパトロネージュプログラム」に、香川県漆芸研究所が推薦する同所修了者2名を公募により推薦し、「暮らしのなかで愛でる工芸」というテーマのもと、多数の作品を出展した。

会 期：令和元年12月22日（日）～23日（月） 2日間

会 場：JP TOWER「KITTE」

（東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 KITTE地下1階）

主 催：一般財団法人川村文化芸術振興財団

出品作品：86点（いずれも販売可能なもの）

販売実績：21点（合計金額：162,400円）

参加作家：竹森 滉（平成30年研究員修了）、山下 加奈（平成29年研究生修了）

④ 台湾との漆芸交流事業

台湾にて開催された「2019 亞太漆芸×地方創生論壇」に出席し、シンポジウムやパネルディスカッションへの参加、ワークショップの開催などを行った。シンポジウムでは、アジア各国から13名の漆芸関係者が登壇し各地の漆芸事情や先進的な取り組みを発表した。パネルディスカッションでは、香川漆芸からは漆芸研究所長が登壇し、ハイ

ブランドとのコラボ事業や瀬戸内国際芸術祭における香川漆芸の展示などを発表した。
ワークショップでは、3技法の説明を行い、彫漆のブローチ制作体験を実施した。

会 期：令和元年8月28日（水）～31日（土） 4日間

会 場：国立台湾工芸研究発展センター（台湾南投県）

主 催：国立台湾工芸研究発展センター

⑤ 漆芸研究所修了作品貸出事業

県内外において優れた香川漆芸作品に触れる機会を創出するため、以下の表の通り企業や団体に対し、一定期間無料で漆芸研究所保有の修了作品の貸出しを行った。

また、JR 四国が運行する「四国まんなか千年ものがたり」車内のウィンドーケースに展示し、列車観光客に広く香川漆芸の魅力発信を行った。

貸出先	展示場所	貸出点数	貸出期間
西日本電信電話株式会社 香川支店	【高松市】応接室	3	元 8.1 ～ 2.4.20
株式会社大林組 四国支店	【高松市】応接室	3	元 8.1 ～ 2.4.30
株式会社四電工	【高松市】役員応接室他	2	元 8.1 ～ 2.4.30
株式会社あおぞら銀行 高松支店	【高松市】店内	3	元 8.1 ～ 2.4.30
株式会社NTTドコモ 四国支社	【高松市】支社長応接室	1	元 8.1 ～ 2.4.30
三豊市宗吉かわらの里展示館	【三豊市】展示館内	3	元 8.1 ～ 2.4.30
NTTインターネット株式会社	【東京都品川区】応接室	3	元 8.1 ～ 2.4.30
香川銀行 県庁支店	【高松市】本店営業部	3	元 8.1 ～ 2.4.30
ショーボンド建設株式会社 四国支店	【高松市】応接室	1	元 8.1 ～ 2.4.30
一般社団法人香川経済同友会	【高松市】応接室他	2	元 8.1 ～ 2.4.30
扶桑電通株式会社 四国支店	【高松市】応接室他	1	元 8.1 ～ 2.4.30
株式会社二蝶	【高松市】床の間等	3	元 8.1 ～ 2.4.30
株式会社百十四銀行 ソリューション推進部	【高松市】展示スペース	3	元 8.1 ～ 2.3.31
大阪商工信用金庫	【大阪府中央区】応接室	3	元 8.1 ～ 2.4.30
株式会社喜代美山荘	【高松市】花樹海ロビー	3	元 8.1 ～ 2.4.30
清水建設株式会社 四国支店	【高松市】応接室	3	元 8.1 ～ 2.4.24
産業技術総合研究所 四国センター	【高松市】ロビー	3	元 8.1 ～ 2.4.30
オークラホテル株式会社	【丸亀市】オークラホテル 丸亀1Fロビー	3	元 9.1 ～ 2.1.31
18か所	県外： 2か所 県内： 16か所	46	

7 伝統的ものづくり展示会及び見本市開催補助金

【事業費 620,076 円】

＜普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援＞

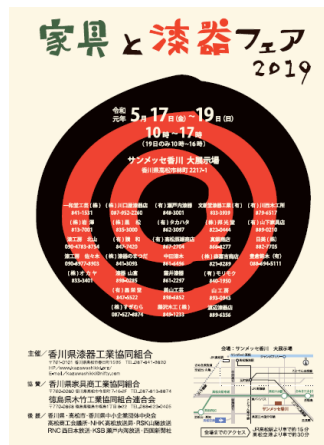
普及啓発・販路開拓等を目的とした、以下の展示会に対し、助成を行った。

- ・第 82 回香川の家具とぬりもの新作見本市補助金（家具と漆器フェア 2019） 500,000 円
- ・香川の漆器まつり補助金 120,076 円

※あじストーンフェア補助金について今年度交付は無し。

全国漆器展補助金は香川県から補助金の交付を受けたため、本市からの交付は無し。

香川の漆器まつり補助金については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったため、事前準備にかかった経費のみを交付。



8 伝統的ものづくり振興事業補助金

【事業費 1,259,000 円】

＜人づくりの推進/事業環境の整備/普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援＞

高松市の伝統的ものづくりの技術や素材を活用し、伝統的ものづくり事業者及び関係団体等が取り組む販路開拓や担い手育成、ブランド力向上に係る事業に対し、費用の一部（上限額 50 万円、補助額は総事業費の 1/2 以内）を補助することにより、自主的な活動の促進や事業者の事業環境の整備を図り、伝統的ものづくりの振興に繋げることを目的としている。

令和元年 4 月 15 日（月）～5 月 15 日（水）及び 7 月 1 日（月）～7 月 12 日（金）の間、事業計画を募集した結果、6 事業者（販路開拓 2 事業者、担い手育成 1 事業者、ブランド力向上 3 事業者）の応募があり、審査の結果、以下の 4 事業者の採択を行った。

事業区分	事業名	申請事業者
販路開拓	石工技術を用いた生活用品（※）の新規展開事業 ※コーヒードリップスタンドやキッチンツール等	有限会社島本石材工業 代表取締役 島本 健一郎
販路開拓	ホームページ及びカタログのリニューアル	有限会社森本建具店 代表取締役 森本 隆

ブランドカ 向上	香川・獅子舞文化の情報発信を通じた讃岐のり染 PR のための製品（こども獅子ゆたん）づくり	有限会社大川原染色本舗 代表取締役 大川原 誠人
ブランドカ 向上	「建築材料およびインテリアとしての漆パネル」製 作プロジェクト	さぬきうるし Sinra 代表 松本 光太

※香川・獅子舞文化の情報発信を通じた讃岐のり染 PR のための製品（こども獅子ゆたん）づくりについては、試作品開発に大幅な遅れが出たため、申請者より中止申請が提出され、交付決定を取り消した。



9 たかまつ工芸ウィーク開催事業負担金 【事業費 1,246,700 円】

<普及啓発/販路開拓>

高松のサイト（店舗や施設）同士がつながりあい、工芸に特化した週間をつくりあげ、高松を工芸の発信地として広く内外にアピールすることを目的として開催した。

開催期間：令和元年10月18日（金）～11月4日（月・祝）

（瀬戸内国際芸術祭秋会期期間中 18日）

主催：たかまつ工芸ウィーク実行委員会（高松市、高松商工会議所、高松市牟礼庵治商工会、香川県漆器工業協同組合、香川県盆栽生産振興協議会、IKUNAS、かがわ物産館「栗林案」、kitahama blue stories、まちのシューレ963）

事業内容

① 統一した広報の実施

全体を網羅した広報物を作成し、チラシの配布 PR を行った。また、専用ホームページ及びインスタグラムを設けて WEB での広報も行い、瀬戸内国際芸術祭期間中の県外・国外からの来訪者への周知を行った。（リーフレット 35,000 枚、ポスター600 枚、産地ツアーチラシ 10,000 枚、のぼり 150 枚）

② 伝統的ものづくりの展示

市や県の施設で伝統的ものづくりの展示を通じ、高松の工芸の幅広さを PR。

③ 民間店舗での工芸品の販売

市内の民間店舗で工芸に関する自主企画を実施し、伝統的ものづくりの商品に触れて、購入いただき、実際に使ってもらおう。

④ ワークショップ、産地ツアー等の開催

伝統的ものづくりの周知及び販売促進のため、伝統的ものづくりに関するワークショップや産地ツアーを開催。（ワークショップ等：7コース、産地ツアー：2コース）

事業実績

- ・参加協力してくれた施設・店舗・・・42箇所
- ・参加者数（ワークショップの参加者、店舗での購入者、イベント等の来場者）延べ23,623人

